事業所名	放課後等デイサービス　RacucuruNEO	支援プログラム	作成日　令和	7 年	1 月	5 日

法人（事業所）理念		もっと楽しくを創造する。 個性＝個星　特性＝特星 こどもファースト		
支援方針		利用者様を第一と考え、常に快適で満足していただける空間を提供します。 利用者様を尊重し、社会的自立の形成を育めるようサービス提供します。 利用者様の気持ちを癒し常に楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力します。		
営業時間		RacucuruNEO　　９：００～１９：００	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	お箸・フォーク等を自ら使って食べれるように視覚的に提示する。 本児が出来そうなお手伝いを促す。 使った道具などの片付けができるようにサポートする。 本児が準備・片付けがし易いように視覚的に提示する。		
	運動・感覚	トランポリンや粗大遊びを促し、衝動的な行動へ発散を促す。 ジャグリング運動やい一輪車を用いて、運動能力を鍛える。 アイロンビーズを使って手指訓練を行う。 スライムを使って気持ちを落ち着かせる。 得意な運動や感覚遊びを通して、自信につなげていく。		
	認知・行動	約束をする際に本児の気持ちを引き出し、スタッフの思いも合わせて一緒に決めていく。 決めた約束事は書いておき、振り返りが出来るようにする。 切り替えるときはタイマーを用いて促す。 物の個数や、重さや形、機能や属性の認知形成ができるように、普段から意識して会話をする。 認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成ができるように支援する。		
	言語 コミュニケーション	指さしではなく、言葉で伝えられるように、スタッフがまずお手本の言葉で模倣する。 個別課題（ミッション）を取り組む期間を本児と決め、最後まで取り組むことが出来るように進める。 文字・記号、絵カード、おめめどうなどのコミュニケーション手段を活用する。		
	人間関係 社会性	苦手な活動の際には本児が出来そうな役割を提供し、積極的に参加できるように促す。視覚支援ツール（おめめどう）を用いて１日の流れに見通しをもたせて安心ｓｈして活動に取り組めるようにする。活動に対してどれだけ集中できたかを評価する。 遊びの中で役割分担したりルールを守って社会性を築いていく。 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせをする。		
家族支援		日常生活において、本人の思いや家族の思いをやりとりする場面を増やす。 保護者の気持ちに寄り添い、困り感に助言できるように定期的に相談できる機会を設ける。 本人のコミュニケーションや仕草等で気になったことを帰りの送迎時や面談の際に共有する。	移行支援	必要に応じて学校を訪問し、情報の共有や具体的な関わり方のモデルを示す。 学校での引き渡し時では本日の学校での様子やがんばったことなどを聞き、支援に生かす。 学校や機関等と日常的に情報交換を行い連携を図る。
地域支援・地域連携		一般の学校へのインクルージョン（包容）を推進する。関係機関で役割分担を行い、お互いに情報交換し共有する。　連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議する。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントにつてい助言を行う。	職員の質の向上	経験や職種に応じた研修の参加を促しスキルアップの機会をつくっていく。定期的な個別支援会議を行い、情報を共有する。 毎日の振り返りを必ず行い、具体的な支援内容（声かけや・活動内容）の更新を行う。
主な行事等		・地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供する。 地域の福祉祭りやイベントに参加・児童館との交流会を開催する。子供たちが作った作品を展示し販売を行い、地域との関係を深める。		